

全学共通科目の課題の増加について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年5月20日）

全学共通科目の課題の増加は昨年度と比べても明らかなものだと思います。授業のオンライン化に伴って学生の学習状況を測るために課題を出している教員の方もいらっしゃるでしょうが、多くの科目（特に楽単と言われる科目）で揃って課題が過酷なものになっているのは全学の方針であると考えざるをえません。これはCAP制の上限30単位が確立したことで一つの授業あたりの課題を増やす準備が整ったこともあり、課題を増やし、一つの授業あたりの予復習時間を確立（強制）しようという文科省ひいては国際高等教育院の方針ですか？

【回答】（回答日：2020年5月29日）

（回答者：国際高等教育院）

今期については授業のオンライン化により、学習内容の確認のため多くの科目で課題等を出されておりますが、従来から1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としていることから、授業外学習の充実は大学設置基準にも適合しているものです。

なお、今年度入学者より多くの学部で1学期に履修登録できる単位数の上限を30単位とするCAP制が設けられましたが、これは各学部が昨年に検討され決定していたことであり、今期のオンライン授業を想定し設けられた制度ではありませんが、趣旨としては既に述べましたとおり学修時間の確保を目的としたものです。